

「当院の内視鏡診療における鎮静薬の実態調査」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2023年3月6日～2025年12月31日

〔研究課題〕

当院の内視鏡診療における鎮静薬の実態調査

〔研究目的〕

本研究の目的は、当院の内視鏡診療全般における鎮静薬の実態調査を行い有効性と安全性を評価し、各内視鏡診療内容、個々の患者状態における最適な鎮静薬使用を明らかにすることです。

〔研究意義〕

内視鏡診療における鎮静は日常診療において重要度の高い医療行為となっています。日本消化器内視鏡学会より内視鏡診療における鎮静に関するガイドラインが発行されており鎮静薬使用の標準化が進んでいます。しかし同ガイドラインは総論的な内容であり個別最適化は出来ていません。すなわち、上部・下部・小腸・胆膵内視鏡など複雑化している内視鏡診療内容や、年齢・合併症・社会的状況など多様な患者背景に応じた最適な鎮静薬の種類・量・投与時間などについては未だ不明な点が多いのが現状です。

そこで本研究では、当院の内視鏡診療全般における鎮静薬の実態調査を行い有効性と安全性を評価し、各内視鏡診療内容、個々の患者状態における最適な鎮静薬使用を明らかにすることを目的としています。この結果により、多様な状況に応じた鎮静薬使用プロトコールが作成できれば安全な手技が行われ実臨床に役立つと考えています。

〔対象・研究方法〕

研究は2014年4月から2022年10月までの期間に当施設において内視鏡診療を施行した症例を対象にします。

調査する内容は主に以下のとおりです。

患者基本情報(年齢、性別、既往歴、使用中の薬剤、処置前後の採血結果)、内視鏡診療(検査または治療内容、内視鏡施行時間)、使用薬物(内容、量、投与時間)、患者状態(内視鏡前、内視鏡中、内視鏡後の血圧、脈拍、酸素飽和度、覚醒度、体動の有無、偶発症)

これらの個人情報が漏出することのないように患者個人を同定できないようにコード化した後に登録します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院消化器内科 准教授 土井 晋平

〔個人情報の取り扱い〕

研究にあたっては、対象となる方の個人を同定できる情報は一切使用致しません。データの管理、保管は厳重に行い、研究終了後にデータおよび資料は倫理委員会事務局に提出され帝京大学臨床研究センターにて10年間保管後にすべて廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:土井 晋平 (准教授)

研究分担者:勝倉 暢洋 (助教)

所属:帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科

住所:〒213-8507 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL:044-844-3333 (代表)